2017
部局長実行宣言

12人の部長が市民の皆さんにお約束します。

むらやま ひさかず	ふたまた こうじ	いわさ たかし	とだ けんご	さかい ひでかず	わたなべ かずただ
村山 寿和	**二俣 幸二**	**岩佐 隆司**	**戸田 健吾**	**坂井 英一**	**渡辺 数忠**
議会事務局長	会計管理者	水道部長	建設部参事	建設部長	教育委員会事務局長

ながた ちはる	おおくわ てつお	あさの のりゆき	しもむら ひとし	さくらだ きみあき	やました きよし
永田 千春	**大桑 哲生**	**浅野 典之**	**下村 等**	**桜田 公明**	**山下 清司**
経済部長	市民環境部長	福祉部長	総務部長	企画部長	市長公室長

2017
やります！

2016
やりました！

SEKI 関市

平成２９年５月

部局長実行宣言

1　目　的

市長の市政方針に従って業務を推進する各部局において、その運営責任者である各部局長が、どのような重点目標を持ち、どのような具体的な取組を展開するかを、「部局長実行宣言」として市民のみなさんに明らかにします。

また、この「部局長実行宣言」により次の3点の実現を図ります。

（1）　各部局長が自らの執行責任を明確化することで、各部局の業務に対するマネジメント機能を向上させます。

（2）　各部局の目標や重点課題に対する取組を、職員間で共有し、組織力を最大限に発揮させます。また、業務の実施に計画性とスピード感を持ち、確実に実行させます。

（3）　重点的に取り組むこと及びその実績を、市民のみなさんに分かりやすく説明することで、行政の透明性を確保します。

2　部局の構成

部　局	所　属　課	ページ	
		29年度計画	28年度実績
市長公室長	秘書広報課　職員課　危機管理課	1	13
企画部長	企画政策課　市民協働課 洞戸事務所　板取事務所　武芸川事務所　武儀事務所　上之保事務所	2	15
総務部長	総務管財課　財政課　契約検査課　税務課	3	17
福祉部長	福祉政策課　高齢福祉課　子ども家庭課	4	19
市民環境部長	市民課　国保年金課　保健センター　生活環境課	5	21
経済部長	商工課　観光交流課　農務課　林業振興課	6	24
建設部長 （部長、参事の連名）	建設総務課　土木課　都市計画課　都市整備課	7	26
水道部長	水道課　下水道課	8	28
会計管理者	会計課	9	30
議会事務局長	議会事務局	10	32
教育委員会事務局長	教育総務課　学校教育課　生涯学習課　文化課　スポーツ推進課 関商工高等学校	11	34

3　関市自治基本条例に基づく「部局長実行宣言」

・本市は、市民との協働や住民自治の実現を図るために、「関市自治基本条例」を制定しました。
（平成26年12月25日施行）

・「関市自治基本条例」は、まちづくりの基本原則、市民の権利、行政の役割や責務等を明確にし、「協働のまちづくり」を推進するための最も大切な理念を定める条例です。

・部局長実行宣言は、「関市自治基本条例」の理念に基づき、各部局長の重点目標を市民にわかりやすく説明することで、行政の透明性を確保するものです。

～「関市自治基本条例」の抜粋～

（前文抜粋）

子どもからお年寄りまで全ての市民は、まちづくりに大切な存在です。わたしたちは、市民一人ひとりの考えが大切にされ、市民が主役であることが実感できるまちを市民、議会、及び行政が協働してつくっていきます。

わたしたちは、地方自治の本旨にのっとり、関市のまちづくりの原則や仕組みなどを明らかにし、全ての市民が心豊かに幸せを感じることができるまちの実現のためにこの条例を定めます。

（まちづくりの基本原則）

自治基本条例では、みんな（市民、議会、行政）が協働してまちづくりを進めるうえでの基本とする6つの原則を条例に定めています。

① 市民が主役のまちづくり
② 市民が生涯にわたり自由に学び合うまちづくり
③ 市民が参画するまちづくり
④ 市民、議会及び行政が協働するまちづくり
⑤ 情報を提供し共有するまちづくり
⑥ 自然、歴史、文化、産業等の地域資源を生かすまちづくり

（情報の共有）

行政は、協働のまちづくりを推進するため、必要な情報を提供し、共有します。

（説明責任）

行政は、市政運営に関する情報を分かりやすく説明します。

平成29年度

やります！市長公室長実行宣言

山下清司　市長公室長
（やましたきよし　しちょうこうしつちょう）

所管課

秘書広報課　職員課　危機管理課

自己PR

関市を誇りに思い、地域、農業、そして地酒の「さんやほう」をこよなく愛する公務員。

スローガン

「立つ鳥、跡をにごさず！」
やるべきことはやり切って、締め括れるように努めます。

重点的に進めること

1	「せき行財政改革アクションプラン」の確実な推進と、実効性ある新たなプランを策定します。
2	多様な手法で情報発信に努めるとともに、市民の皆さんの声を市政に生かします。
3	ワークライフバランスを推進し、メリハリのある働き方を進めます。
4	防災力の点検、再構築を進め、地域の防災力も高めます。
5	消防団員の確保と、活動支援を進めます。

平成29年度

やります！

企画部長実行宣言

桜田公明　企画部長

（さくらだきみあき　きかくぶちょう）

所管課

企画政策課　市民協働課
洞戸事務所　板取事務所　武芸川事務所
武儀事務所　上之保事務所

自己PR

「刀都せき」・「刃物のまち関」に誇りを感じ、「関鍛冶の歴史」と「刀」にとても興味があります！

スポーツで汗を流すことと、温泉旅行も好きです！

「元気なあいさつ」、「親切な対応」、「職員の協力」を大切に、全力で頑張ります！

スローガン

「市民との協働」と「地方創生」で元気な関市を実現！

重点的に進めること

1　「地域委員会」と「移住促進」で地域活力を推進します！

2　市民と協働で「第5次総合計画」を策定します！

3　市民満足度の高い「公共交通」に取り組みます！

4　「LGBT」と「男女共同参画」意識の向上を目指します！

5　「ふるさと納税」総額6億円を目指します！

平成29年度

やります！

総務部長実行宣言

下村等　総務部長

（しもむらひとし　そうむぶちょう）

所管課

総務管財課 財政課 契約検査課 税務課
監査委員事務局 選挙管理委員会事務局
固定資産評価審査委員会事務局
公平委員会事務局

自己PR

○信条
・市民に対して：親切・公平・誠実
・職員に対して：活かす・育てる・守る
・自分に対して：挫けない・諦めない・媚びない
○休日は：妻と買い物に行く、孫と遊ぶ
○好きなテレビ番組：NHK連続テレビ小説
○好きな食べ物：卵料理、麺類、お菓子
○家族：妻・父・母・長女・長女の夫・孫3人

スローガン

現状に満足することなく、
１歩でも半歩でも、とにかく前へ進む

重点的に進めること

1　補助金支出の根拠を明確にし、交付額の適正化を進めます。

2　滞納処分、司法の活用を進め、債権回収を強化します。

3　公平で適正な賦課・徴収を徹底し、市税収入を確保します。

4　住民活動を支援する”ふれあいセンター”を整備します。

5　公平で公正な入札・契約制度を維持します。

平成29年度

やります！

福祉部長実行宣言

浅野典之　福祉部長
（あさののりゆき　ふくしぶちょう）

所管課

福祉政策課　高齢福祉課
子ども家庭課

自己PR

趣味・・書、車中泊
信条・・「信義誠実の原則」

スローガン

「他人事」から「我が事」へ
人・資源・世代・分野を超えて「関・丸ごと」つながる共生社会

重点的に進めること

1	多様な子育てニーズに対応します。（子育てコンシェルジュの設置、森のようちえんの開設）
2	地域力を活かし、子どもの居場所づくりを支援します。（ひとり親家庭の子ども対象に、こども食堂補助、学習支援委託）
3	障がい者を市役所内で就労支援します。（障がい者ジョブアシスト「わくわく」事業）
4	生活困窮者の相談事業を充実させ、就労・自立に向けた支援を行います。（新たに家計相談事業実施）
5	介護予防・日常生活総合事業を推進し、地域包括ケアシステムの体制を整備します。

平成29年度

やります！市民環境部長実行宣言

大桑哲生　市民環境部長
（おおくわてつお　しみんかんきょうぶちょう）

所管課

市民課　国保年金課
保健センター　生活環境課

自己PR

仕事に対するモットーは、仲間やチームを大切にすることです。
プライベートでは、立派な生活じゃなくてもいいから、楽しく前向きに暮らしていきたいと思っています。

スローガン

・・・健康で快適なくらし・・・
市民が健康で快適な生活が送れるようサポートします

重点的に進めること

1	国民健康保険事業の健全な運営の確保を図るため、適正な税率改正を行います。
2	「しあわせヘルスプロジェクト」を推進し、健康づくりに取り組む人を増やします。
3	健康づくりのシンボルとして「安桜山展望台」の整備を進めます。
4	快適な生活環境を向上させるため、ごみの減量化と合葬式墓地の整備を進めます。
5	親切、丁寧、迅速な窓口サービスを提供します。

平成29年度

やります！経済部局長実行宣言

永田　千春　経済部長
（ながた　ちはる　けいざいぶちょう）
所管課 商工課・観光交流課・農務課・林業振興課

自己PR

中濃実年野球リーグの現役迷プレーヤー！
若いもんには負けんぞ！と空振り三振を怖れず、ブンブン振っていきます。
住民の皆さんとともに、元気ハツラツ「刃物のまちを元気に！」すべく、頑張ります（拝）

スローガン

「第50回刃物まつり」と
「地域経済循環」で刃物のまちを元気に！

重点的に進めること

1　地域内経済循環プロジェクトを展開し、地域を応援します！

2　第50回刃物まつりを盛大に開催します！

3　どぶろくづくりの研究を初め、6次産業事業を推進します！

4　有害鳥獣駆除対策を強化し、被害防止に取り組みます！

5　刃物ミュージアム回廊整備事業を推進します。

平成29年度

やります！ 建設部長・参事実行宣言

坂井英一　建設部長	戸田健吾　建設部参事
（さかいひでかず　けんせつぶちょう）	（とだけんご　けんせつぶさんじ）

自己PR

誠実

所管課

建設総務課
土木課
都市計画課
都市整備課

自己PR

堅実

スローガン

目指せ！　住みよい関市　づくり

～ インフラの整備・維持管理に取り組みます ～

重点的に進めること

1　**幹線道路整備** を推進し、交通利便性を向上させます。

2　**長寿命化対策** を推進し、適切なインフラ管理を行います。

3　**土地区画整理事業** を推進し、快適な市街地整備を進めます。

4　**河川・砂防事業** を推進し、生活の安全性を向上させます。

5　空家等対策計画を策定し、**空家対策** を行います。

平成29年度

やります！

水道部長実行宣言

岩佐隆司　水道部長
（いわさたかし　すいどうぶちょう）
所管課 水道課　下水道課

自己PR

素数（prime number）と為す

スローガン

見える上下水道事業

重点的に進めること

1	見える財政	水道事業の経営戦略、下水道事業の企業会計に取り組むことで財政を見える化します。
2	見える事業	老朽管対策、長寿命化事業などの工事内容や進捗を公表することで事業を見える化します。
3	見える運営	上下水道の業務を公開や施設の見学などを通じて業務を見える化します。

平成29年度

やります！会計管理者実行宣言

二俣幸二　会計管理者
（ふたまたこうじ　かいけいかんりしゃ）
所管課 会計課

自己PR

「一人はみんなのためにみんなはひとりのために」をモットーにチームワークを大事にしています。
趣味は、新鮮野菜が食卓に上がるのを楽しみに4年前から家庭菜園を始めました。

スローガン

正確な予算執行と
確実かつ効率的な公金運用を行います

重点的に進めること

1　正確で速やかな支払い事務を行います。

2　二重の点検を行い、誤りを防止します。

3　適正な基金運用に努めます。

4　基金等の運用は、安全性の確保を第一に運用します。

5　経理担当者及び職場長の会計実務能力を向上させます。

平成29年度

やります！

議会事務局長実行宣言

村山寿和　議会事務局長

（むらやまひさかず　ぎかいじむきょくちょう）

所管課

議会事務局

自己PR

時間があれば体を動かし汗をかくことで、ストレス解消に努めています。“花になるより 花を咲かせる 土になれ”をモットーに頑張ります。

スローガン

議会の活性化を促すため議員をサポートし、
適切な助言により建設的でより活発な議論がなされる議会運営を推進します

重点的に進めること

1　分権社会に即した議会運営を推進します。

2　議会の監視機能、政策提言機能を強化します。

3　市民に対し、速やかに議会情報を伝え、より身近な開かれた議会を目指します。

4　議会でのIT機器の多様な活用を一層推進します。

平成29年度

やります！教育委員会事務局長実行宣言

渡辺数忠　教育委員会事務局長

（わたなべかずただ　きょういくいいんかいじむきょくちょう）

所管課

教育総務課　学校教育課　生涯学習課
文化課　スポーツ推進課
関商工高等学校

自己PR

“明るく”　“元気に”　“さわやかに”

をモットーに

「ゴルフ道」　を追及中！

スローガン

愛　以　貫　之（あいをもって、これをつらぬく。）

人を大切に、自分を磨く！

重点的に進めること

1　どうしたら人に喜んでもらえるか、を考えて決断します。

2　プロジェクト（給食センター、弥勒寺 etc.）を着実に進めます。

3　新しいこと（日本遺産、公認キャンプ地 etc.）にチャレンジします。

4　安全、安心を常に心がけます。

5　明るく元気にさわやかに、笑顔で“あいさつ”“返事”を徹底します。

やりました！

2016 部局長実行宣言

達成状況報告

かたぎり あつし
片桐 淳
議会事務局長

ふたまた こうじ
二俣 幸二
会計管理者

いわさ たかし
岩佐 隆司
水道部長

わたなべ せいじ
渡辺 誠治
建設部参事

さかい ひでかず
坂井 英一
建設部長

わたなべ かずただ
渡辺 数忠
教育委員会事務局長

ながた ちはる
永田 千春
経済部長

いとう としひろ
井藤 敏博
市民環境部長

あさの のりゆき
浅野 典之
福祉部長

しもむら ひとし
下村 等
総務部長

さくらだ きみあき
桜田 公明
企画部長

やました きよし
山下 清司
市長公室長

やりました！

平成28年度 市長公室長 実行宣言

スローガン

しあわせを持続するため、改革を実行！

モットー・意気込み

市長公室は、市長の秘書業務、広報・広聴と行財政改革を担当する「秘書広報課」、職員の管理を行う「職員課」、交通安全、防犯・防災、消防団を担当する「危機管理課」の三課を所管します。

市民の皆さんに関市への誇りと、暮らしている満足感を持っていただけるよう、適切な情報発信をしていきます。関市も少子高齢化と人口減少が進んでいます。この現実を市民の皆さんにも理解していただきながら、行財政改革に取り組んでいかなければと考えます。
また、熊本地震の支援・復旧が進む中で多くを学び、関市の防災・減災のために備えます。

「できるか、できないか」より「やるか、やらないか」。覚悟をもって取り組んでいきます！

市長公室長
（やました　きよし）
山下　清司

重点的な取組

重点目標		具体的な内容	達成状況(実績)	評価
①	行財政改革の推進により、良好な行財政運営を目指します。	(1)「せき行財政改革アクションプラン」(平成27～平成29年度)に基づき、各部署において、全48の改革項目を計画的に取り組みます。 特に7つの重点改革項目と、27年度に進捗が遅れた8項目について、積極的に取り組みます。 (2)公共施設再配置計画の第1期実施計画に基づく対象施設について、関係者との協議、合意形成を進めます。	(1)年度末評価は、48項目中、好調6、順調35、不調7となり、効果額が532,274千円、二年間累計が1,064,015千円となり既に目標の8億円を超過しました。 (2)公共施設の再配置計画の推進は、9月に施設ごとにシートを作成して進捗管理を行い、武芸川温泉の譲渡や瀬尻公民センター廃止を進めるとともに、複合化を進める施設については、庁内協議を開始しました。	→ 順調
②	関市ホームページをリニューアルします。	(1)市民や利用者にとって、分かりやすく、使いやすいサイトとするため、市ホームページをリニューアルします。 トップページデザインを変更するとともに、地図を使った機能などを追加して利便性の向上を図ります。	市民や利用者にとって分かりやすく、使いやすいサイトとするため、ﾌﾛﾝﾄﾍﾟｰｼﾞを追加し"くらしの情報""観光情報"への入口を設置しました。また、トップページデザイン変更、写真やフェイスブック表示など新たな機能を追加するなどのリニューアルを実施し、3月1日から公開しました。	→ 順調
③	職員の適正な確保・配置と資質向上により組織の活性化を進めます。	(1)良好な行政サービスを提供するとともに、組織の活性化を図るため、適正な人員確保に努めるとともに、能力を活かせる人員配置を行います。 職員定員適正化計画職員数687人(再任用職員を除く)の確保を目指します。 (2)職員の能力向上を図るため、職場におけるOJT研修を徹底するとともに、外部講師などの研修を積極的に進めます。 【外部委託研修】①倫理研修 ②ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ研修 ③人事評価者研修 ④管理職研修 ⑤ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ研修 ⑥女性ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ研修	(1)組織検討委員会において、30年4月の第5次総合計画の開始に合わせた検討を進めました。 (2)各職場におけるOJTを通年実施したほか、外部講師による①倫理研修 ②ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ研修 ③人事評価者研修 ④管理職研修 ⑤ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ研修 ⑥女性ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ研修を行いました。	→ 順調
④	女性の活躍推進とﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽを進めます。	(1)「せき☆きらめき女子のｱｸﾃｲﾌﾞﾌﾟﾗﾝ」を確実に取り組むことで、職場における女性の活躍を推進し、組織の活性化を図ります。 ｱｸﾃｨﾌﾞﾌﾟﾗﾝに掲げる数値目標を達成するための取り組みを積極的に推進します。 (2)ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽを推進することで、ストレスを貯めず健康で職務を遂行できる職場環境を創ります。 ストレスチェック調査を実施し、職員のﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ不調の未然防止に努めます。 (3)長期休暇取得促進ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ「YASUMO」により、年次休暇の取得を奨励します。	(1)ジョシ☆ケン、イクメン研修(11/18)、ジョシ☆コン(2/17)、イク☆ケン(11/12、3/2)を開催しました。 (2)ストレスチェックを11月に初めて実施し、メンタル相談などによりストレスの軽減を図りました。 (3)年休取得推進の「YASUMO」を通年で取り組み、7～8月に「ゆう活」、毎週水曜日には「ノー残業デー」を進めました。	→ 順調
⑤	消防団活動を維持・向上を支援します。	(1)消防団員、機能別消防団員等の確保に努め、消防団活動を充実します。 学生隊や企業別女性団員隊の役割を明確にし、活動を支援します。 (2)消防団再編計画に基づき、消防団車庫・詰所の建替工事と車両の更新を行います。 車庫は2棟建設、2棟設計し、車両はポンプ車1台、積載車1台を納入します。	(1)消防団員定数1250人に対して、基本団員995人、災害支援団員130人、学生隊30人、T-SELF10人の計1165人(充足率93.2%)を確保しました。 (2)山田(小金田分団)、小野・八神(富野分団)の車庫詰所の整備と消防ポンプ車を武儀第一分団に小型動力ポンプ積載車を瀬尻分団に導入しました。	→ 順調
⑥	防災力の向上を推進します。	(1)防災・減災についての知識や、災害に対処する力を養うために、自主防災会を対象に防災講座・防災マップ作成を実施します。 (2)防災教育の一環として、小中学校における防災講座の実施に取り組みます。 (3)防災備蓄倉庫及び資機材等の整備を進めます。	(1)防災訓練を43自主防災会(137自治会)で実施したほか、防災講座23回(自治会等16回、学校6校、避難ｺﾝｻﾙﾄ1回)として、HUG訓練1回、DIG訓練1回、地震2回、避難訓練2回、要配慮者1回、全般16回を実施しました。 (2)防災教育として、小学校3校、中学校1校、高校1校、大学1校で防災講座を開催しました。(上記重複) (3)防災備蓄倉庫は、避難所型1基(博愛小)、標準型2基(洞戸市場、洞戸阿部)を整備し、資機材も同様に配備しました。	→ 順調

やりました！

平成28年度
企画部長 実行宣言

スローガン

市民と協働による
地方創生と移住促進で
元気な関市を実現!!

モットー　・　意気込み

企画部長

（さくらだ　きみあき）

桜田　公明

皆さん、こんにちは！企画部長の桜田です。

企画部は、地方創生事業をはじめ、市民の皆様と協働するまちづくりの施策など、元気な関市の実現を目指すための企画のほか、庁内の横断的な施策の調整役を担っています。

合併後10年を経て、様々な地域課題があるなか、住み慣れたところで心豊かに暮らせるまちを目指して、スピード感を持って私自身が元気に、そして意欲的に取り組んで行きたいと思います。

元気なあいさつ･親切な対応･職員の協力を大切に、全力で頑張ります！

重点的な取組

重点目標		具体的な内容	達成状況（実績）	評価
①	移住と地域活力を推進します。	(1)「地域おこし協力隊」を板取と上之保に配置し、若者の移住や元気な地域活力を推進します。 (2)「美濃市・郡上市との三市連携による移住定住促進事業」をはじめ「空き家バンク」や「定住促進奨励金のPR」等で子育て世代の移住を促進します。 (3)「地域の宝磨き上げ事業」として「板取の通称モネの池」、「武芸川寺尾ヶ原千本桜」、「武儀の高沢観音」の3地域の地域資源を充実させます。 (4)「地域委員会」の15の全域での活動開始を目指して、交付金と支援職員の派遣による支援を実施し協働による地域づくりを進めます。	(1)5月から協力隊を各1名配置し、鳥獣対策やSNSによる情報発信など地域の活性化の推進に向けて取り組みました。 (2)三市連携の移住体験ツアーをはじめ、移住コーディネーターを配置して、11件の移住実績がありました。 (3)板取は通称「モネの池」周辺整備としてトイレ改修等を、武芸川は「寺尾桜」の再生に向けた間伐等を、武儀は「高澤観音」のライトアップ整備事業等を行いました。 (4)14地域で地域委員会活動が始まり、支援職員の派遣のほか部会別の情報交換会を開催しました。	→ 順調
②	協働のまちづくりの施策がより活発となるように取り組みます。	(1)「市民ワーキング」を実施して、市民と協働で第5次総合計画の策定を進めます。 (2)「市民ファシリテーター」を養成し、様々な会議で市民参画の協働型会議の仕組みを取り入れます。また、「協働型市民活動助成金」の活用を促進します。 (3)「まちづくり市民会議」を継続実施し、提案型から実働型の市民会議を目指します。 (4)市民活動センターを中心にまちづくり市民会議から提案のあった「若者向けの活動」に取り組みます。 (5)「自治基本条例」の市民の理解を深めるため、小・中学校や高校での出前講座をはじめ「まちづくり講演会」などにより、条例の趣旨を普及啓発します。	(1)VOICEプロジェクトとして市民ワークショップ・アンケート・団体ヒアリング等を行い基本構想の策定を進めました。 (2)ファシリテーター養成講座を8回開催し、29名に認定証を渡しました。また、市民活動助成金は15団体に交付をしました。 (3)第4期まちづくり市民会議は路線バスの観光コース、貧困層の学習支援、大学生への情報発信などの提案がありました。 (4)企画部の若手職員と市内3高校の生徒による「まちづくり倶楽部」を立ち上げ、9回の協働活動に取り組みました。 (5)中学校1校で自治基本条例の出前講座と、2月にコミュニティビジネスをテーマとした「まちづくり講演会」を開催しました。	→ 順調
③	市民満足度の高い公共交通の見直しに取り組みます。	(1)「高速特急名古屋線」を導入し、名古屋へのアクセスを便利にします。 (2)「地域内バス」の上之保・武儀の東ウイングと板取・洞戸の西ウイングでの一体運行への見直しに取り組みます。 (3)「関市地域公共交通網形成計画」を策定し、コンパクトシティを念頭に置いた持続可能で効率的な交通体系を目指します。 (4)デマンドタクシーの拡充を含め「シティバス」の効率的な運行の見直しに取り組みます。	(1)4月から高速特急名古屋線を導入しました。 (2)東西ウイングの各地域バス運営協議会で一体化への向けた説明を行いました。 (3)公共交通活性化協議会の5回の開催やパブリックコメントを実施し、バス路線と運賃の見直しなどを盛り込んだ関市地域公共交通網形成計画を策定しました。 (4)シティバスの具体的な運行見直しについては、公共交通網形成計画の策定後である来年度以降に取組ます。	→ 順調
④	男女共同参画意識の向上を目指します。	(1)男性の育児を促進する「イクメン手帳」を作成し、ワークライフバランスの意識啓発を進めます。 (2)女性活躍推進法に基づく、女性の職業生活における活躍の推進に関する計画を定め、市内事業所等に周知します。 (3)男女共同参画推進に向けた「市民フォーラム」や「セミナー」を開催し、男女共同参画意識を高めます。 (4)「みんなが輝くまち関市男女共同参画推進条例」の出前講座を小・中学校や高校で開催し、男女共同参画の理解を深めます。	(1)「パパPassport」の名称で男性の育児参加を促す日記風の「イクメン手帳」を作成しました。 (2)継続して、来年度、事業者や関係機関等の意見を伺って計画策定に取り組んでいきます。 (3)7月に菊池桃子氏を講師として市民フォーラムを開催したほか、8月にLGBTフレンドリー宣言をし、全職員を対象としたLGBT研修を6回開催しました。 (4)学校への出前講座による周知や普及活動は具体的に取組めませんでしたが、人権擁護委員武儀部会に条例とLGBTに関する出前講座を行いました。	→ 順調
⑤	地方創生事業を進めます。	(1)地方創生事業として、「刃物のまち関」と「刀都せき」の両面のポテンシャルを広く内外にアピールし、関市への交流人口の拡大を目指します。 (2)関市の地方創生事業が着実に推進できるよう、庁内関係部署や市内関係機関・関係団体との連携・調整役を担います。	(1)刃物のまちブランディング事業として、観光戦略の策定、関武将隊の結成、旅行会社向けモニターツアー、SNSや雑誌による観光PRなどに取組みました。 (2)刃物のまちブランディング事業や三市連携による移住推進事業において関係機関による協議会を開催して取組みました。	→ 順調
⑥	「ふるさと納税」総額3億円を目指します。	(1)「ふるさと納税」寄附額3億円を目標に、関市の魅力的な謝礼品をそろえ、広くPRします。	(1)日本刀や包丁・ナイフなど関市の魅力的な謝礼品をそろえたことにより、約4億円の寄附を頂きました。	↗ 好調

やりました！

平成28年度 総務部長 実行宣言

スローガン

「市民とつくる関市のまち創り」を支える健全な財政運営の堅持!!

モットー ・ 意気込み

総務部長
（しもむら　ひとし）
下村　等

市民のみなさん、こんにちは。総務部長の下村です。

総務部は、総務管財課、契約検査課、税務課（収納推進室）、財政課の4つの課と、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局の2つの事務局を所管し、約60人の職員が「チーム総務部」として、市民の幸せのため、市政の発展のために一丸となって頑張っています。

私は、市民や職員との「対話」を大切にするとともに、次のことを基本に、精一杯の力を所管する業務に注ぎます。

◎　市民に対しては、「親切・公平・誠実」

◎　職員に対しては、「活かす・育てる・守る」

◎　自分に対しては、「挫けない・諦めない・媚びない」

重点的な取組

	重点目標	具体的な内容	達成状況（実績）	評価
①	健全で持続可能な財政運営を行います。	(1)厳しい財政環境が続く中、持続可能な財政運営をめざし、健全な財政運営を推進します。 (2)総合計画、行政評価、長期財政計画及び行財政改革アクションプランと連携した予算を編成します。 (3)ホームページ等を活用して、財政情報をわかりやすく発信します。 (4)施設使用料・減免基準、補助金制度等の総合的な見直しを行います。 (5)統一的な基準による地方公会計の整備を推進します。	(1)長期財政計画を策定し、公表しました。 (2)総合計画実施計画、長期財政計画及びせき行財政改革アクションプランを踏まえた予算編成を行いました。 (3)「せきしのよさん」、「せきしのけっさん」、予算編成過程など財政に関する情報をわかりやすく公表しました。 (4)使用料等の設定基準及び減免の共通基準を作成し、その基準に基づき施設使用料及び減免制度を見直しました。なお、補助金制度の見直しは、平成29年度から本格的に行うこととしました。 (5)平成28年度決算から統一的な基準による地方公会計を整備するため、財務会計システムを改修しました。	→順調
②	地域コミュニティ施設整備及び災害等緊急時のための庁舎改修を実施します。	(1)市民との協働によるまちづくりを推進するため、地域コミュニティ活動の拠点となるふれあいセンター整備事業を進めます。 今年度は、富岡ふれあいセンター整備のための建設用地購入、地質調査、実施設計に着手します。また、鮎之瀬ふれあいセンターでは、駐車場等外構工事を実施します。 (2)安心・安全なまちづくりの一環として、耐震基準を満たさない公民センターの耐震補強工事、地元移管の希望がある公民センターの改修工事を行います。 (3)本庁舎2階に災害対策本部室を設置するとともに、庁舎6階に会議室を増設するための改修工事を行います。 (4)耐震基準を満たさない上之保事務所については、移転先となる上之保老人福祉センター改修のための実施設計を行います。	(1)鮎之瀬ふれあいセンターは9月にオープンし、駐車場等の外構整備は3月に完成しました。富岡ふれあいセンターは、関係団体等との協議を終え、実施設計の段階に入りました。 (2)公民センターの耐震補強計画・改修実施設計4館、改修等5館を計画どおり行いました。 (3)本庁舎2階に危機管理課を移転するとともに、災害対策本部が開設できるスペースを確保するための改修に着手しました。 (4)上之保事務所の移転先となる上之保老人福祉センター改修の実施設計を行いました。	→順調
③	市税の公平・適切な課税と税収確保を進めます。	(1)未申告者の調査等を進め、課税客体の適切な把握を行い、公平かつ適正な課税を行います。 (2)市政を進めるうえで重要な財源である市税の重要性について啓発するとともに、滞納処分を強化し、市税の収入確保を行います。 (3)税外収入の徴収強化のため、司法の活用等適切な収納確保策を進め、収納率の向上を目指します。	(1)市民税未申告者への調査・課税（480万円）、家屋敷課税（91万円）、償却資産調査・課税（2,500万円）、土地家屋の適正課税などを実施しました。 (2)市税の納期内納付の啓発や早期の催告を行うとともに、滞納処分の強化に努め、収納率の向上を図りました。2月末現在の収納率は、現年86．91%前年比0．80%の増、滞納繰越24．02%前年比3．07%の増、全体で83．31%で前年比1．01%の増となっています。また、インターネット公売、9年ぶりとなる捜索にも取組ました。 (3)債権管理担当課に対する指導を強化し、滞納処分、司法の活用による債権回収につなげました。	→順調
④	入札制度の見直しを行います。	(1)公正で透明性・競争性の高い入札制度を確立するために、一般競争入札を継続するとともに、入札制度の見直しを図りながら実施します。 (2)公共工事の品質確保を図るため、総合評価一般競争入札の試行を継続します。	(1)一般競争入札は、土木工事・建築工事・舗装工事などの業種で21件実施しました。 (2)総合評価一般競争入札は、4件実施しました。 (3)入札や契約の状況をまとめた「関市契約白書」を作成し、4月に公表する予定です。	→順調
⑤	財政援助団体の監査を進めます。	(1)定期監査時に併せた財政援助団体に対する監査を進めます。 (2)指定管理者監査に加え、補助金等を支出している団体等についても監査を進めます。	(1)定期監査、財政援助団体（指定管理者4施設）に対する監査、工事技術監査を実施しました。 (2)補助金等を支出している団体等の監査の実施について検討しました。	→順調

やりました！

平成28年度 福祉部長 実行宣言

スローガン

心で寄り添い
心が通う地域づくり

モットー ・ 意気込み

福祉部長

（あさの　のりゆき）

浅野　典之

皆さん、今年度より福祉部でお世話になっています。福祉部長の浅野です。

法律の条文の中で、私のモットーとしている条文があります。
民法第1条第2項 「権利の行使及び義務の履行は信義に従い誠実に之を為すことを要す」という相互に相手方の信頼を裏切らないよう行動すべきであるという「信義誠実の原則」を規定した条文です。
福祉部は、幅広い年代層の色々な状況の皆さんと関わっていく仕事です。全ての職員が相手を信じ相手の立場に立って、心で寄り添い心の通う地域づくりのため頑張ります。

重点的な取組

重点目標		具体的な内容	達成状況（実績）	評価
①	子育ての環境整備を進めるとともに、連携の取れた子育て支援を行います。	(1)南ヶ丘保育園の耐震補強工事を行い、公立保育園耐震化率を100%とします。 (2)家庭児童相談員を増員し、今年度整備する「子育て世代包括支援センター」に配置します。保健師、社会福祉士とともに、お子さんの切れ目のない支援を行っていきます。 (3)低所得世帯の保育料の軽減を行います。 ・年収約470万円未満相当の世帯について、上限を国基準の8割から7割に引き下げます。 ・年収約360万円未満相当の世帯について、軽減や無償化を行います。 ・年収約470万円未満相当の世帯について、18歳までのお子さんが3人以上いる場合は、第3子以降無償とします。 (4)仕事をしながら子育てをする家庭を支援するため、学校の長期休業期間について、留守家庭児童教室の開室時間を30分早め、働き方に応じた受け入れを行います。	(1)南ヶ丘保育園の耐震補強工事が完了し、公立保育園耐震化率が100%となりました。 (2)お子さんの切れ目のない支援を行うため、平成28年10月に「関市子育て世代包括支援センター　ひだまり」を保健センター内に開設しました。 (3)低所得世帯の保育料の軽減を行いました。 (4)仕事をしながら子育てをする家庭を支援するため、学校の長期休業期間について、留守家庭児童教室の開室時間を30分早め、働き方に応じた受け入れを行いました。	→ 順調
②	高齢者が元気に地域で暮らすための支援を進めます。	高齢者が地域において、経験や知識を活かし積極的に社会参加ができるよう就労支援と生きがいと健康づくりを推進します。また、老人福祉センターなどを利用して、少しでも長く元気で過ごすことができるよう生きがい・体力づくり事業を実施します。 1 地域支え合い体制づくり事業の推進 2 ふれあいいきいきサロン事業の推進 3 老人福祉センター高齢者つどい事業の推進 4 高齢者溜まり場創造事業の推進	社会参加、就労支援を目指し、シルバー人材センタへの補助・老人クラブへの支援等を行いました。健康づくり講座やサロンの実施等により、体力づくりや引きこもり防止等の事業を推進しました。 1 地域支え合い体制として、コーディネーター、協議体を各地域に配置しました。 2 サロンに543回11,012人参加しました。 3 つどい事業に291回8,065人参加しました。 4 溜り場創造事業に約1,000人参加しました。	→ 順調
③	介護予防事業と包括的支援事業の充実を進めます。	(1)介護予防事業 「第6期せき高齢者プラン21」では、関市らしい「地域包括ケアシステム」の構築を計画しています。高齢者が住み慣れた地域で元気に自立した生活ができるよう、在宅支援サービス、介護予防・日常生活支援総合事業の体制づくりを進めます。 1　介護予防活動支援事業の推進 2　介護保険適正化事業の推進 (2)包括的支援事業 要介護状態になることを予防し、地域で自立した生活を営むことができるよう支援します。 1　認知症初期集中支援チームなど認知症施策推進 2　在宅医療と介護の連携 3　地域ケア会議の充実 4　生活支援体制整備事業の推進	(1)介護予防事業 高齢者が住み慣れた地域で元気に自立した生活ができるよう、平成29年4月開始の介護予防・日常生活総合事業を整えました。 1　介護予防教室に市内12か所延7,200人が参加しました。 2　介護保険適正化事業では、認定状況チェック、ケアプラン点検、住宅改修等の点検を行いました。 (2)包括的支援事業 1　認知症初期集中支援チームの認知度が上がり、認知症サポーターは、5,000人を超えました。 2　医療・介護の専門職の顔の見える関係ができてきました。 3　市内全域で、地域ケア会議を実施し、地域課題の解決に向けて、地域包括支援センターが積極的に活動を行いました。 4　生活支援サービスの開始むけ、協議体14、コーディネーター6名を配置しました。	→ 順調
④	生活困窮者の相談を行い、就労・自立を支援します。	(1)「生活支援相談室」の円滑な運営及び関係機関との連携を図り、生活困窮者の相談事業、就労支援等を行います。また、就労支援員及び社会福祉協議会との連携により就労・自立につなげます。 (2)昨年度に引き続き、低所得者の消費税増税を緩和するために「臨時福祉給付金」を適正に給付します。また、低所得の高齢者向け及び、低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの「年金生活者等支援臨時福祉給付金」についても適正に給付します。	(1)「生活支援相談室」において生活困窮者の相談事業及び就労支援等を行いました。また、関係機関による「支援調整会議」を毎月定期的に開催し、生活困窮者の状況に即した支援計画を策定し自立に向けた支援を行いました。 (2)各臨時福祉給付金の対象者に対して、給付金を適正に給付しました。また、国の補正予算に対応した「臨時福祉給付金（経済対策分）」について、本年度の事業を翌年度へ繰り越し、適正に給付します。	→ 順調
⑤	障がいのある方の自立（一般・福祉就労）支援及び、障害者差別解消に向けた取り組みを推進します。	(1)昨年度に引き続き、障がいのある方の総合相談及び就労に向けたコーディネートを行います。また、自立に向け、就労定着のための支援を行います。 (2)昨年度作成した、職員向けの「障がいのある方への配慮マニュアル」を有効に活用し、障がいの特性を理解した上で、適正な配慮が可能となるよう、職員研修等を通して積極的に取り組みます。	(1)障がいのある方の自立に向けて就労相談等を行い、企業開拓及び就労支援を行うとともに定着支援を行いました。 就労相談等　延べ272件 開拓企業　　46件 就労人数　　19人（一般・福祉就労） (2)障がいのある方への配慮マニュアルに基づき、職員研修を実施しました。また、障害者差別解消を啓発するためのパンフレットを作成しました。	→ 順調

やりました！

平成28年度 市民環境部長 実行宣言

スローガン

目指します！「健康寿命の延伸・国保制度の維持・快適環境の保持」

～ よりよい明日 ～

モットー ・ 意気込み

市民環境部長

（いとう としひろ）

井藤 敏博

私の担当する市民環境部は、市民課、国保年金課、生活環境課、保健センターの4課です。

皆様の健康づくりや母と子の総合相談を支援するとともに、安定的で持続可能な国民健康保険制度の維持、快適環境の保持を実践していく部門として、一日一日を大切に職員一丸となって市民の皆様にご満足いただける取組を実行していきます。

引き続き、「今日より明日、明日より明後日」と日々変わり続ける事をモットーに業務に専念し、今年度の重点的な取組を着実に進め、目標達成に全力を尽くします。

重点的な取組

重点目標		具体的な内容	達成状況（実績）	評価
①	がん検診の受診率を向上させ、がんや生活習慣病を予防します。	(1)胃がん検診　11．5%　（10．0%） 大腸がん検診　28．5%　（26．9%） 肺がん検診　36%　（34．3%） 前立腺がん検診　31%　（29．2%） 乳がん検診　26%　（25．6%） 子宮がん検診　23%　（21．2%） を目指します。　（ ）内はH27実績 受診率向上のため、無料クーポン発行やヘルスマイレージ事業の活用を図り、受診しやすい体制の整備に努めます。 (2)食育、高血圧や糖尿病予防などの健康づくり出前講座や健康講演会を開催します。	(1)受診率向上のため、無料クーポンの発行や、ヘルスマイレージ事業の活用を図るとともに、胃内視鏡検査の導入や女性限定ドッグ日を設けるなど受診しやすい体制整備に努めました。 健診受診啓発に協力を頂ける企業・事業所及び団体を「関市健診受診啓発協力事業所」として登録し、民間企業の協力を得ながら受診率向上に取組ました。 ・受診率（3月末見込み） 胃がん検診　10．5% 大腸がん検診　27．2% 肺がん検診　34．1% 前立腺がん検診　30．0% 乳がん検診　23．1% 子宮がん検診　20．2% (2)生活習慣病予防、介護予防などの健康づくり出前講座を32回実施。その他、若草プラザ学習情報館多目的ホールにて、市民健康講演会を1回開催しました。	→ 順調
②	ウオーキングの推奨などにより健康づくりを進めます。	(1)健康寿命の延伸を目指し、せき＊ミリオンウオーキング事業の登録者の拡大を図り、ウオーキングによる健康づくりを推進します。 (2)しあわせヘルスマイレージ事業の認知度の向上を目指して、健康づくりのイベントや講座、健診などへの市民の参加を推進します。 (3)健康標語の募集を行い、健康づくりへの市民の意識の向上を目指します。	(1)せき＊ミリオンウオーキングでは、ポスター・チラシの配布やイベントでウオーキング手帳の配布をしました。登録者477人と昨年より減少していますが、初参加が136人あり、認知度は向上しています。企業対抗ミリオンウオーキングは44チーム（5チーム増）の参加があり、計220人の働き盛り世代が取り組みました。 (2)しあわせヘルスマイレージ事業は、昨年度同様健診受診券にチラシを同封し、認知度が向上しました。また地域主催の健康づくり事業のマイレージ対象申請も増加しています。ポイント達成者は2月末で1,376人です。 (3)健康標語「しあわせ健康メッセージ」は、小中学校と一般に広く呼びかけ、全110点の応募があり、優秀作品を決定、表彰をしました。	→ 順調
③	子育て世代包括支援センターを開設し、切れ目のない支援を推進します。	(1)妊娠期から子育て中のさまざまな相談にワンストップで対応する「子育て世代包括支援センター（仮称）」を開設します。 (2)いつでも気軽に相談できるセンターを目指し、保健師、家庭児童相談員、社会福祉士等専門職による支援（来所相談、家庭訪問等）を行います。 (3)子ども家庭課や子ども相談センター、学校などとの連携を行い、予防的視点に重点を置いた切れ目のない支援体制の構築を図ります。	(1)10月1日から保健センター内に、子育て世代包括支援センターひだまりを開設しました。 (2)保健師と家庭児童相談員等の専門職を複数名配置し、妊娠期から学童、思春期までの相談や支援を行いました。 (3)会議の開催と出席、日頃からの園訪問や学校訪問、電話連絡で連携を取りながら、各機関の関係者が顔の見える関係づくりをもとに、当事者への支援体制を強化して支援を行いました。	→ 順調

④	国民健康保険税収納率の向上、医療費の抑制等により、国民健康保険事業の財政健全化を推進します。	(1)ペイジー等による口座振替を推進するとともに、インターネットやスマートフォンから登録ができるクレジット収納やネットバンキング決済を導入し、保険税の収納率を向上させます。 (2)特定健康診査未受診者への電話勧奨、特定保健指導血液検査、医療機関との連携による治療中の方の情報提供などにより、特定健康診査の受診率34%を目指します。(H28.3月末の暫定数値:31.1%) (3)レセプト点検を充実し、重複・頻回受診者への訪問指導、ジェネリック医薬品の利用促進などにより、被保険者の意識の向上を図り、医療費の適正化を推進します。	(1)ペイジーの活用等口座振替を推進しました。 口座振替率:29.1月末65.3%((前年同月65.0%)。クレジット納付、ネットバンキングの活用の推進と、差し押さえを強化し収納率向上につとめました。 ・29.1月末収納率　全体59.80%(前年比2.93%↑) 現年分70.01%(前年比1.78%↑) 過年分21.57%(前年比3.20%↑) (2)未受診者への電話勧奨、治療中の方の情報提供等により、特定健康診査の受診率向上に努めました。受診率:29.2月末24.1%(前年同月25.5%)年度末見込み34.0% (3)レセプト点検の実施、重複・頻回受診者への訪問指導、ジェネリック医薬品の利用促進等、医療費の適正化を推進しました。 ジェネリック医薬品利用状況(新指標) 28年12月末75.1%(前年同月62.8%)	→順調
⑤	ゴミの減量化と墓地公園の適切な整備を進めます。	(1) 家庭ごみの有料化が始まり、無料袋の引換や旧ごみ袋の買取など、新制度へのスムーズな移行を行います。また、コンポストの一層の普及でごみの減量化と資源リサイクル率を高めるようなステーション設置を進めます。 (2)墓地公園に永代供養となる合葬式墓地を新設し、空きスペースを活用した個別区画の整備も進め墓地需要に対応していきます。 (3)身近な生活環境に関心を深めてもらうため、環境フェア、環境ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑを開催し啓発を進めます。	(1)4月からの家庭ごみ有料化実施により、12月末までは旧ごみ袋の使用期限などの影響もあり、ごみの排出量が増加しましたが、1月からはごみの排出量も減少し、2月には合併後初めて1千トンを下回るなど効果が表れ始めました。今年度の関市版段ボールコンポストについては2月末で172個販売し昨年度より減少しましたが、引き続き普及に努めます。ごみステーション整備補助は2月末で12件と前年度とほぼ同数の申請がありました。 (2)墓地公園第3区域の整備については合葬式墓地の建設が遅れていますが、次年度秋頃の完成を目指し事業を進めます。また併せて第1区域にも新たに61の墓地区画を造成します。 (3)環境フェアを10月16日に実施し、代表小学校による環境学習の発表や関商工生徒によるソーラーカーの展示発表をしていただきました。2月26日には環境講演会を実施し、地球温暖化に対する社会情勢や国内での取組みのほか身近にできる防止活動などについてわかりやすい講演で多くの方に関心をもって参加していただくことができました。	→順調
⑥	さらに窓口サービスを向上させます。	(1)親切、丁寧、迅速な窓口サービスを提供します。 市役所の顔として、親切、丁寧で心のこもった接客を行います。 (2)住民票の写しや印鑑登録証明書などのコンビニ交付事業をスタートさせます。	(1)課内会議や毎朝礼を通じて、証明書発行や窓口対応の課題などを協議などすることで、職員の意思疎通を図り、親切、丁寧な接客をはじめ窓口サービスの向上につなげることができました。 (2)平成28年8月1日から市民の利便性の高い証明書コンビニ交付サービス事業をスタートさせることができました。今後も、証明書コンビニ交付サービスを推進するため、市民への周知を図っていきます。	→順調

やりました！

平成28年度 経済部長 実行宣言

スローガン

地域経済活性化!!
1.ビジネスサポートセンター開設
2.刃物ミュージアム回廊整備

モットー ・ 意気込み

経済部長
（ながた　ちはる）
永田　千春

皆さん、こんにちは。経済部長の永田です。

経済部は、商工課、観光交流課、農務課、林業振興課の4課と5地域事務所とともに、関市に明るい希望の未来をもたらしてくれる地域産業の振興、中小企業の振興をお手伝いしてまいります。

関市の経済に好循環を生み出すべく、積極的に空振りを恐れずチャレンジ精神で職員一丸となって頑張ります。

「日本一しあわせなまち関市」の実現を目指し、創意工夫を重ねて、市民の皆さんとともに地域経済の活性化に邁進したいと思います。
よろしくお願いします。

取組について

重点目標		具体的な内容	達成状況（実績）	評価
①	中小企業支援、創業支援に全力を尽くすとともに、企業誘致や人材の確保・育成を促進します。	(1)ビジネスサポートセンターを中心とした地域産業活性化プロジェクトに、全身全霊を傾けて取り組みます。 (2)異業種交流企業展「ビジネスプラス展 in SEKI 2016」を開催し、企業のPR、雇用確保、取引拡大、販路開拓につなげていきます。 (3)“ものづくりのまち・関”のものづくり現場を楽しくめぐる体験型見学会「関の工場参観日」を開催し、地域産業の技術の高さ、働く人のカッコ良さを全国のみなさんに知っていただくとともに、関市への誇りと愛着の醸成につなげていきます。 (4)建設部や関係機関と連携・協力して、企業の立地意欲が高まる環境の整備を進めます。	(1)ビジネスサポートセンターを開設しました。相談件数は月に130件程度あり、当初の目標を大きく上回っています。売り上げアップしている事例もいくつか出てきています。 (2)異業種交流企業展「ビジネスプラス展 in SEKI 2016」を5月に開催しました。平成29年度も引き続き開催いたします。 (3)「関の工場参観日」を8月に開催し、本市工業の技術力の高さなどのPRをしました。平成29年度も引き続き開催する事を決定しています。 (4)工業団地のPRや通勤の便利な道路網や公共交通の整備など企業が進出しやすい環境について関係機関と協議しました。	↗ 好調
②	「刃物ミュージアム回廊整備事業」の推進、観光「シティプロモーション」により、情報の発信、外国人旅行客の誘致を図ります。	(1)「刃物のまち関市」としてのイメージを高めるため、「刃物ミュージアム回廊整備事業」を推進します。 (2)「関市」の知名度をアップするため、様々なメディアを活用して積極的に情報を発信します。 (3)県、近隣市町及び関係団体等の広域的な連携を強化し、外国人の誘致を図ります。 (4)既存資源の掘り起こしや磨き上げとともに、新たな観光資源の創出により、観光地としての魅力づくりを推進します。	(1)「刃物ミュージアム回廊整備事業 用地買収、整備・運営に関して、民間事業手法導入可能性調査を完了しました。現在要求水準書の作成やプロポーザルの準備をしております。 (2)シティプロモーション事業を初め、刃物まつりのPRなどにより積極的に観光情報の発信をしました。 (3)県観光連盟理事に就任しました。このことにより、関係機関等との広域的な連携を図りやすくなりました。 (4)各地域事務所及び観光協会の2支部の連携などにより、観光の振興を図りました。また、平成29年4月3日に一般社団法人関市観光協会を設立しました。	→ 順調
③	地域農業の振興と農業経営の安定を図るため、集落営農組織の作出や担い手農家の育成支援に努めるとともに、「清流長良川ブランド」としての農産物のPRにより農業振興を図ります。	(1)集落営農組織の設立支援に努め、中山間地域の農業、農村の活性化を図ります。 (2)農地中間管理事業を活用し農地の集積を進め、また農業用機械施設の導入支援により、中核的農家の経営の安定を図ります。 (3)年12回を目標に農地の再生作業を行い、荒廃農地の解消に努めます。 (4)「清流長良川の鮎」世界農業遺産認定を契機に市内農産物のブランド化を進め、PRと農産物の有利販売を図ります。	(1)池尻地区と洞戸地域において集落営農組織を設立しました。 (2)上之保鳥屋市地区において、農地の集約化を実施しました。 (3)農業委員会において調査を実施し、武儀地域において荒廃農地の解消を図りました。 (4)「清流長良川の鮎」の記念イベントを7月24日、7月31日、8月7日3日間で実施しました。 ・「世界かんがい遺産」曽代用水の関連イベントを実施しました。 ・「清流長良川の鮎」協議会のブランドに高賀の水と円空さといもを登録しました。	→ 順調
④	「地域資源の積極的な利活用を通じて、富が地域内で循環し、雇用・所得が生み出される仕組みづくり」を研究し、推進します。	(1)道の駅等の熱源に木質燃料ボイラーを導入し、木の駅活動や森林整備を通じた燃料供給システムによる運用を図ります。 (2)需要者側に配慮した間伐事業の実施を通じ、利活用しやすい市産材供給を図ります。 (3)生活利便施設への木製サイクルスタンドの設置等を通じ、身近な木材利用の拡大を図ります。 (4)里山整備の促進や里山ワンダーランド・里山あそびをテーマとした里山の活用を通じた、地域ぐるみの獣害対策を推進します。	(1)温泉施設でのバイオマスボイラーを導入し、森林整備を通じた燃料供給システムについて研究しました。 (2)間伐事業の実施(16か所予定のうち7か所)市産材を利用した学校用机を発注しました。(12月に442台納入済) (3)10月22日開催のサイクルツーリング会場で木製サイクルスタンドを披露します。 (4)森林を活用したトレッキング、トレイルランニングを2月19日にふどうの森で開催しました。また、農作物への獣害に対応するため、猿檻を武儀地区に2基設置しました。	→ 順調

やりました！ 平成28年度 建設部長・参事 実行宣言

スローガン

住みよい関市 をつくります

～インフラの集中的整備・適切な維持管理～

モットー ・ 意気込み

『誠実』をモットーに事業を推進します。

建設部は、市民の皆さんが日常利用される道路や水路などの社会資本（インフラ）の整備や維持管理を行っています。

住みよい関市となるよう

- ○ 集中的な整備を進めます。
- ○ 適切な維持管理を行います。
- ○ 防災減災対策を進めます。
- ○ 持続可能なまちづくり計画を策定します。

建設部長
（さかい　ひでかず）
坂井　英一

建設部参事
（わたなべ　せいじ）
渡辺　誠治

重点的な取組

重点目標		具体的な内容	達成状況（実績）	評価
①	幹線道路の整備を進め交通利便性を高めます。	(1)高速道路、国道、県道の早期整備を促進します。 ・東海環状自動車道西回りルート(関広見インターチェンジ以西) ・国道156号岐阜東バイパス第3工区(山田地内) ・国道248号バイパス4車線化 ・国道418号(肥田瀬工区) ・国道256号(洞戸尾倉工区) ・主要地方道白鳥板取線(杉原工区)　など (2)幹線市道の整備を推進します。 ・西本郷一ッ山線(旧国道248号への接続) ・東本郷鋳物師屋線(平賀町5丁目～東新町6丁目間)	(1)国、県と調整し、高速道路、国道、県道の早期整備を促進しました。東海環状自動車道西回りルート、国道248号バイパス、国道418号などは工事を進めています。 (2)西本郷一ツ山線は、用地買収が完了し工事を進めています。東本郷鋳物師屋線は、主要地方道関金山線以南の用地買収が完了し一部工事を進めています。	→順調
②	河川砂防事業を推進し治水、土砂災害への安全性を高めます。	(1)一級河川の改修を促進します。 ・長良川(遊水地計画、今川改修)、津保川(明生町、上大野地区改修)など (2)急傾斜地崩壊対策事業、砂防事業を促進します。 ・急傾斜地崩壊対策事業(上之保小樽、洞戸神明前、武儀町1、間吹2、武芸川本都延) ・砂防事業(武儀寺洞、大洞谷、板取島口川) (3)都市河川関川、普通河川改修を推進します。また、西本郷通治水対策検討を行います。	(1)国、県と調整し、一級河川の改修を促進しました。長良川遊水地事業は、地元役員協議を行い検討を進めています。長良川(今川)、津保川の改修工事を進めています。 (2)県と調整し、急傾斜地崩壊対策事業、砂防事業を促進しました。上之保小樽、武儀間吹2の急傾斜地崩壊対策工事、武儀大洞谷砂防工事を進めています。他地区は、設計・用地買収を進めています。 (3)関川改修工事、神明町等の排水路改修工事を行いました。また、西本郷通の治水対策案を検討しました。	→順調
③	インフラの長寿命化と安全対策を進めます。	(1)橋梁、トンネル、舗装、公園、市営住宅などの施設点検、パトロールを計画 的に行い、長寿命化が図れるよう予防保全による補修を行います。 (2)防災対策として道路法面の安全対策、橋梁の耐震補強、トンネル補修を行います。 (3)通学路の安全対策を行います。	(1)橋梁、トンネル、舗装、公園、市営住宅などの施設点検を行い、必要な補修を行いました。 (2)板取地域の川浦地内等の落石防止対策工事、新富津橋の耐震補強工事、岩坂トンネルの補修工事を行いました。 (3)通学路交通安全プログラムを更新し、通学路の安全対策工事を行いました。	→順調
④	市街地整備を推進し、良好なまちづくりを進めます。	(1)道路、公園、排水路などの公共施設の新設、改良を宅地の整備と同時に行うことができる土地区画整理事業について、笠屋、平賀第一、第二地区を支援します。また、巾南西部地区の事業調査を継続します。 (2)コンパクトで持続可能なまちづくりを目指して「立地適正化計画」を策定します。	(1)事業中の笠屋、平賀第一、第二地区の土地区画整理事業を支援しました。笠屋地区は、保留地処分が完了できないため平成31年3月まで事業を延伸しました。平賀第一地区は、道路・水路等の工事を進めています。平賀第二地区は、造成詳細設計等を行いました。また、巾南西部地区のA調査(基本構想)を行い、地元説明会を開催しました。 (2)関市立地適正化計画を策定し、3月に公表しました。	→順調
⑤	空家対策を進めます。	空家の実態調査を進め、空家に関するデータベースを整理します。また、放置すれば倒壊等保安上危険となるおそれのある空家などを特定空家と定め、必要な措置(助言又は指導、勧告、命令等)を行います。	職員により、特定空家候補282件の調査を行いました。地権者等を調査し、データベース化を進めています。特定空家等審査会を開催し、特定空家の判断基準等の意見聴取を行い必要な措置が行えるよう進めています。	→順調

やりました！

平成28年度 水道部長 実行宣言

スローガン

未来に向けた 上下水道事業の継続

モットー ・ 意気込み

水道部長
（いわさ　たかし）
岩佐　隆司

水は私たちにとって最も身近な液体であり、人が生きていくために必要不可欠なものです。また、様々な産業活動にも必要な物質です。私たちが直接利用可能な水は、地球上にある水全体の1％未満であり飲用にできる水はさらに少ないといわれています。

水道部は、この貴重な水を市民の皆様に供給し、使用したのち浄化して自然に返しています。地球上の水循環の一部を担うことに誇りを持ち、水道･下水道事業を進めていく所存です。

重点的な取組

重点目標		具体的な内容	達成状況(実績)	評価
①	上下水道事業の経営の健全化	(1)事業統合による経営の一本化をします。 ・簡易水道事業を水道事業に統合し事業の一本化により経営の効率向上に取り組みます。 (2)企業会計導入に向けて取り組みます。 ・簡易水道会計は水道事業への統合により平成29年度から企業会計とします。 ・下水道会計、農業集落排水会計は平成32年度を目標に企業会計導入の準備をします。 (3)料金徴収業務を民間委託します。 ・お客様サービスセンターを設置(10月)してサービスの向上に努めます。	(1)簡易水道と上水道を統合することができました。平成29年度から一つの水道事業として運営していきます。 (2)平成29年度から水道事業は、全て企業会計となりました。今後は、経営の状況を的確に把握し、限られた財源をより有効に活用して健全な経営を推進していきます。 (3)10月からお客様サービスセンターを設置し委託業務を開始しました。サービスの向上に努めていきます。	↗ 好調
②	水道施設の耐震化、長寿命化を推進します。	(1)水源地施設等を更新し長寿命化を推進します。 ・白金水源地高圧受電設備、その他ポンプ設備等の更新を行います。 (2)老朽管対策事業を継続します。 ・40年以上経過した老朽管を更新し耐震化と長寿命化を行います。平成28年度は6.7Kmを更新します。	(1)白金水源地は、改良工事が終了したことにより、耐震、長寿命を備えた最新の施設となりました。 (2)12件の老朽管の更新工事を行いました。布設替えをし耐震管になった延長は6.9Kmです。	↗ 好調
③	下水道施設の耐震化、長寿命化を推進します。	老朽化した管路施設、処理施設の長寿命化事業を推進し、計画的な施設整備に努めます。 ・平成26・27年度に策定した設計に基づき、管路施設、処理場施設の長寿命化工事を実施します。 〇浄化センター焼却設備長寿命化工事 〇浄化センター沈砂設備長寿命化工事 〇浄化センター汚泥処理設備長寿命化工事	長寿命化事業の工事は、全て発注することができました。平成30年度の完了を予定しています。	→ 順調

やりました！

平成28年度 会計管理者 実行宣言

スローガン

正確な予算執行と確実かつ効率的な公金運用を行います

モットー　・　意気込み

会計管理者
（ふたまた　こうじ）
二俣　幸二

会計管理者の役割は、現金、有価証券、物品等の出納及び保管、支出手続きの審査確認及び決算の調製などを行っています。

会計事務の執行に当たっては、法令･条例等を遵守し正しく行われているかを厳正かつ迅速に審査し、的確な会計事務の遂行に努めます。また、保管管理する基金等の公金については、安全性の確保を第一に運用し、有利な公金管理を行っていきます。

市民の皆様に納めていただいた税金を一円たりとも無駄にしないよう会計事務を行います！

重点的な取組

重点目標		具体的な内容	達成状況(実績)	評価
①	収入･支出事務を適正に執行します。	(1)予算の執行事務(支出負担行為決議書･支出命令書の作成等)が法令･条例等を遵守し正確になされているかの審査を行い、正確で速やかな支払い事務を行います。 (2)予算執行する担当課での点検(請求書の債権者と金額の支出命令書との照合)を必ず行うことを徹底させ、さらに、会計課におきましても二重の点検を行い、誤りを防止します。 (3)指定金融機関･収納代理金融機関の検査を実施します。	(1)予算の執行事務について、法令･条例等に違反していないか、債務が確定しているかをポイントに審査し、正確で速やかな支払事務を行いました。 (2)予算担当課での二重チェック(請求書の債権者と金額)の徹底を行うとともに、会計課でも厳重に照合して、支払いミスを防ぐことができました。 (3)指定金融機関･収納代理金融機関の検査についても、金融機関に赴いて実施しました。	→ 順調
②	公金の適正管理と効率的な公金運用を行います。	(1)現金を取り扱う職員(出納員･分任出納員･現金取扱員)の現金保管及び執行が適正に行われるよう指導します。 (2)歳計現金については、支払いに必要な資金を除いて余裕資金が発生した際には、安全で効率的な定期性預金での運用を行います。 (3)基金の運用については、元金の確保を前提とした運用を行います。なお、基金は、定期性預金や債券購入での運用を行いますが、債券については、安全性の確保を優先させ、債券運用指針を遵守して運用を行います。また、超低金利時代のなかで、利率が有利で安全･確実な債券での運用を増や、利率の低い債券については、入れ替え等を行うことにより、利金を増収させます 多額の売却益を得ることができる債券単価の上昇時の売却については、利率や残存年限など利回りを考慮するなど、より有利な公金運用の研究を行います。	(1)各部署の所属長を対象に会計事務研修会を開催し、適正な執行をするよう指導しました。 また、印紙の販売、税金等の受け入れを行う際の受け渡しミスがないように、再確認、別の人でのチェックを行うことによりミスを防止しました。 (2)歳計現金の運用については、余裕資金がなかったため定期性預金の運用は取りやめました。 (3)基金の運用については、定期預金での利率が低いため、総額約210億円のうち債券を約70%運用しました。その結果、債券の売却益･定期預金及び基金の利息収入を合わせ、約5億7千万円の収入となりました。	→ 順調
③	会計事務の処理能力を高めます。	予算執行課の会計担当職員を対象として会計事務研修会を開催します。さらに事務処理の誤りが見られる場合、必要に応じて個別指導を行い、会計実務能力を向上させて、正確な事務処理を促していきます。	経理担当者の会計実務研修を実施し、会計実務能力の向上を行いました。個別案件において書類不備、記載ミス等があった場合には、個別指導を行いました。	→ 順調
④	運用と調達を一体的にとらえた資金管理を行います。	支払準備金の資金不足に備え、不足する期間、金額などの効率的な方法で調達できるよう借入方法について研究していきます。	支払準備金の資金不足に備え、不足する期間、金額などの効率的な方法で調達できるよう借入方法について研究し、債券の現先取引ができるよう契約を締結しました。	→ 順調

やりました！

平成28年度 議会事務局長 実行宣言

スローガン

地方分権時代に即した議会活性化を推進します

モットー・意気込み

議会事務局長
（かたぎり　あつし）
片桐　淳

議会事務局では、執行部（市長）と二元代表制の一翼を担う市議会において、市民の皆さんの意見を市政に反映できるよう、活発で円滑な議会運営のサポートをしています。

市民に開かれた市議会を目指し、議会の活性化を推進するとともに、建設的で活発な議論が行われる議事運営を図ってまいります。
また市議会における議決、会議内容等の活動を広く市民に知っていただくため、HP等による迅速な情報提供とともに、タブレット類の利用による議会のIT化と、ペーパーレス化を更に進めます。

執行部と市議会の「良きパイプ役」を果たせるよう、事務局職員一丸となって頑張ります。

重点的な取組

重点目標		具体的な内容	達成状況（実績）	評価
①	分権社会に即した議会運営を推進します	市議会が住民代表として、市民の要望をこれまで以上に市政に反映できるよう、市民に開かれた、より身近な市議会を目指し、議員間の協議により市議会の活性化を進め、時代に即した議会に向け更に検討を進めます。	本会議や各種委員会等において、議長、委員長等のサポートするとともに、会派間等の調整に努め、円滑で活発な議事運営を進めました。 また議会活性化推進の一環として、市民に対し政務活動費の一層の透明化を図るため、ホームページに全領収書等（平成27年度分）を公開することとし、29年1月より実施しました。	→順調
②	議会の監視機能、政策提言機能を強化します	(1)常任委員会及び特別委員会の機能を強化し、建設的で積極的な審議により、住民代表として的確な議決が導かれるよう活発で円滑な議事運営を図ります。 また、議会運営委員会や協議・調整を行うための場（全員協議会、会派代表者会議、委員会協議会）においては、議会の監視機能を強化するため、それぞれの会議が担う役割の機能を強化します。 (2)議会として住民の意識をより市政に反映するためには、議員提出による議案や、執行部提出議案の修正などが必要な場合もあり、市民の負託に応えるために必要な政策提言、議員の立案能力など「議会力」の向上をアシストします。	公共施設等再配置・観光振興に関する調査特別委員会、協議・調整を行うための場（会派代表者会議、全員協議会、委員会協議会）において、建設的で活発な審議、議論がなされるよう、事前に執行部と会議の進め方、説明資料等の調整を積極的に行い、時には必要な資料を依頼するなどにより、委員会等の円滑な議事運営を図りました。	→順調
③	市民に対し、速やかに議会情報を伝え、より身近な開かれた議会を目指します	(1)本会議終了後、直近の市広報に「議会だより」として、議決された議案や、代表・一般質問など市議会の活動が市民の皆さんに見えるよう、速やかにお知らせします。 また本会議・委員会の審議内容等を会議録にまとめ、ホームページにも掲載し、審議の内容を報告します。 (2)インターネットによる、本会議の生中継・録画中継の配信、議会ホームページに議会情報（議会日程、議案質疑、代表・一般質問、意見書など）の迅速な提供、傍聴者への資料配布などを実施し、市議会に対する市民の関心と理解を深める取組を積極的に進めます。 (3)議会で行われた常任・特別委員会の行政視察報告など、議会の活動内容をホームページにも掲載し、積極的に議会情報を公開します。	(1)市民に広く議会の活動内容等を知っていただくために、「議会だより」として発行するとともに、本会議・全委員会の内容をお知らせするため会議録をホームページに掲載しました。 (2)市議会に対する市民の関心と理解を深めていただくため、インターネットによる本会議の生中継を行うとともに、代表・一般質問の録画中継の配信および議会の各種の情報（議会日程、議案質疑、代表・一般質問、意見書など）の発信に努めました。 (3)議会運営委員会、常任・特別委員会が行った行政視察において、委員が協議して作成した視察報告を速やかにホームページに掲載することにより、市民に委員会視察の成果を報告しました。	→順調
④	議会のIT化とペーパーレス化を推進します	(1)議会運営等におけるIT機器（タブレット端末、ノートパソコン）の積極的な活用による、円滑な議会運営と、議員への各種情報の迅速な伝達を進めるため、IT機器の多様な利用を一層推進します。 また、新たなIT機の有効活用法についても調査研究を継続し、時代に即した議会におけるIT化を一層推進します。 (2)IT機器の活用により紙媒体（議案、議事関係書類、執行部からの各種報告書等）を一層の削減に向けて、議会のペーパーレス化を引き続き進めます。	(1)タブレット端末などの活用により議会のIT化に努めました。今後もなお一層のIT化を推進します。 (2)IT化により議会でのペーパーレス化効果は、紙の削減枚数で、定例会（4回）、 臨時会（1回）で年合計約92,000枚、コピー代に換算して約327千円のコスト削減効果がありました。	→順調

やりました！ 平成28年度 教育委員会事務局長 実行宣言

スローガン

（ あいをもって　これをつらぬく ）

愛以貫之

人を大切に、自分を磨く！

モットー　・　意気込み

教育委員会事務局長
（わたなべ　かずただ）
渡辺　数忠

あなたも(^o^)　私も(^o^)　関市も(^o^)　世界も(^o^)

関市教育委員会は、
“心ときめき”、“笑顔きらめき”、“元気いきいき”とした
「自分づくり」を応援します！

●心はいつも新鮮に！
みなさんのチャレンジを応援し、“ときめく心”を育みます！

●素敵な笑顔のために！
将来を担う子どもたちに投資し、素敵な“笑顔”を増やします！

●市民一人　1学習・1スポーツ・1ボランティア！
みなさんの幸せを応援し、“明るく元気”なまちづくりを進めます！

重点的な取組

重点目標		具体的な内容	達成状況（実績）	評価
①	「学校教育夢プラン」を進めます。	(1)次世代リーダーを育成 ・中学生リーダー研修、中学生海外研修などにより、広い視野を養い、将来リーダーとして活躍する人材を育成します。 (2)キャリア教育を促進 ・スポーツ、芸能、科学などにおける「夢教室」を開催し、夢を持つことの大切さ、夢に向かって努力することの大切さなどを学びます。 ・関市版寺子屋を開催し、自然や文化、先人の生き方などを学びます。 (3)ふるさと教育を促進 ・小瀬鵜飼の観覧や日本刀鍛錬の見学など、郷土の伝統文化に親しんだり、ふるさとの自然や暮らしを俳句に詠んだりして、ふるさとへの愛着心を育みます。 (4)学力向上、個性を伸長 ・中学生理科数学コンテスト、中学生英語スピーチコンテストなどを実施し、生徒一人ひとりの個性や能力を育みます。 ・ファミリー読書発表会などを通じて、こども・家族の読書を奨励します。	(1)高い志や意欲・実践力を育むため、中学生リーダー研修を8/17～19に中池自然の家及び関市役所において開催しました。（氷見市・東松島市を含め、32名の参加）また、豊かな国際感覚と広い視野を養うため、シンガポールに8/17～26まで10名を派遣する中学生海外研修を実施しました。 (2)夢の大切さを学ぶため、「JFAこころのプロジェクト 夢教室」及び「リュウレックスさんの出前講義」を市内の6小中学校で開催しました。また、関市版寺子屋事業を開催し、自然や文化、先人の生き方などを学習していただきました。 (3)小瀬鵜飼の観覧（779名）や古式日本刀鍛錬の見学（866名）などを通して、ふるさと・関について学習・理解を深めていただきました。 (4)学習意欲・学力の向上を図るため、中学生理科数学コンテスト（31組93名）、中学生英語スピーチコンテスト（2部門34名）、ファミリー読書発表会（4家族）などを実施しました。	↗ 好調
②	学校給食センター改築計画を進めます。	(1)学校給食センター改築計画を推進 ・将来にわたって安全・安心な学校給食を提供することができるよう、老朽化した学校給食センターの改築に向けて、基本設計を行います。	(1)新学校給食センター建設予定地の文化財試掘調査、測量調査、都市計画変更手続きを行いました。また、より良いセンターの建設に向けて、公募型プロポーザルにより厨房機器を事前に選定しつつ、基本設計を行いました。	→ 順調
③	学校教育環境を充実します。	(1)小中学校施設を整備 ・児童・生徒が快適な環境の中で学校生活を送ることができるよう、学校トイレの洋式化を計画的に行います。 (2)関商工高等学校施設を整備 ・弓道場建設に向けて、実施設計及び地盤調査を行います。	(1)H33年度までの計画で小中学校のトイレ洋式化工事を4校実施しました。（計画期間H33年度） (2)関商工高等学校弓道場の来年度の建設に向けて、実施設計及び地盤調査を行いました。	→ 順調
④	生涯学習・スポーツ活動を応援します。	(1)小中学校家庭教育推進重点指定校制を導入 ・家庭教育の基本を保護者が学ぶことができるよう取り組みます。 (2)地域づくり型生涯学習を促進 ・シニアや熟年世代の地域デビューのため、大学と連携した市民セミナーを開催します。また、地域を担う人材を養成するための講座を開催します。 (3)第70回全国レクリエーション大会を開催 ・大会の成功を目指し、選手へのおもてなしに努めるとともに、バウンドテニスやグラウンドゴルフなどの普及を図ります。 (4)ラグビーW杯2019・チームキャンプ地誘致活動を促進 ・市民を巻き込んだ誘致活動を進めます。 (5)中池陸上競技場管理棟改築計画を推進 ・耐震性に問題のある管理棟の改築に向けて、実施設計を行います。 (6)マラソン大会、サイクルツーリングを開催 ・市民参画の楽しいイベントとして、マラソン大会やサイクルツーリングなどを開催します。	(1)市内3小中学校を家庭教育推進重点指定校に指定し、家庭教育の基本を保護者が学ぶ事のできる機会を提供しました。 (2)シニアや熟年世代の地域デビューを図るため、中部学院大学と連携し、市民セミナー「大学で学び、地域で活かす講座」を開講しました。（10回、受講生21名） (3)全国レクリエーション大会を開催しました。 ・9/23 グラウンドゴルフ　126名参加 ・9/24 バウンドテニス 123名参加 ・9/25 バウンドテニス 122名参加 (4)ラグビーW杯2019公認キャンプを目指し、キャンプ地選定プロセス応募申請を行いました。また、気運を高めるため、ふるさとアスリートの選定や市ホームページにラグビーコーナーを新設し、PRをしました。 (5)中池陸上競技場管理棟を改築するため、ワークショップを行い、ワークショップでの提案を元に実施設計を行いました。 (6)市民参画イベントとして、サイクルツーリング（5/29津保川、10/22板取川）やキウイマラソンやシティーマラソン（キウイ11/27、シティ3/19）を開催しました。	→ 順調
⑤	文化芸術活動を応援します。	(1)文化振興計画を策定 ・芸術文化を活かしたまちづくりを目指し、基本計画を策定します。 (2)日本刀五箇伝の日本遺産認定 ・大和伝(奈良市)、山城伝(京都市)、備前伝(岡山県瀬戸内市)、相州伝(鎌倉市)、美濃伝(関市)の連携により、日本遺産への認定を目指します。 (3)弥勒寺史跡公園整備を推進 ・正倉院区域、園路、円空館への通路、散策路などの整備を計画的に行います。	(1)芸術文化を活かしたまちづくりを進めるため、関市文化振興計画（H29～38）を策定しました。 (2)日本刀五箇伝の関係市と協議調整し、結果として、備前伝(岡山県瀬戸内市)と美濃伝(関市)の連携協力により、シリアル型で日本遺産認定申請をしました。（5月初旬に結果発表の予定） (3)弥勒寺史跡公園整備計画に基づき、史跡区域内の整備工事（芝張工、園路工、通路設置）、発掘調査、用地買収行いました。	→ 順調